（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　アベーテ

作成日：　平成　27年　2月　4日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民と交流する機会を増やしてゆきたい。	地域住民と交流する機会を増やしてゆく。	○家族や近所の高齢者を施設に招いてお茶会や各種行事に参加してもらう。また保育園・学校などを訪問して園児や学生と交流する機会をつくる。	6ヶ月
2	33	入居者の重度化や終末期の対応を勉強してゆきたい。	入居者の重度化や終末期の対応を勉強してゆく。	○重度化や終末期に関する勉強会を行う。また定期的に重度化・終末期の対応を職員・家族・(参加できれば)本人とで話し合ってゆく。	12ヶ月
3	34・35	入居者急変時や災害時に備えて、勉強会や訓練を続けてゆきたい。	入居者急変時や災害時に備えて、勉強会や訓練を続けてゆく。	○急変時の対応についてのマニュアルを使って、勉強会を行ってゆく。また定期的に地域住民・消防署職員の協力を得ながら、消防訓練・救命訓練を行ってゆく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。